

市長の世・ちまむのニュース

第17号

2019年6月23日
日本共産党根室市委員会
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

老後年金で生活できないって何なの！

日本という国は「年金でへらしてゆけない」誰もが実感していることです。金融庁が発表した「老後資金2000万円不足」は圧倒的に多くの高齢者が毎日の生活で体験している「真実」ではないでしょうか？ この発表に慌てているのがアベさんやアノウさん。物価の上昇に追いつかない年金支給、アベ政治が行っている減額ありきの「マクロ経済スライド方式」の年金制度。今度の参議院選挙は本当に大事な選挙になりますね。

月5万5千円も不足！

年金暮らしの夫婦世帯で月5万5千円の赤字。30年間で2000万円も不足する。老後の備えをめぐる金融庁の報告書。財務大臣の麻生さんは報告書を受け取らないと言い始めていますが、年金だけで暮らしてゆけない庶民の老後の生活が浮き彫りにされた内容です。

しかも、年金を当てにするなど言わんばかりの試算ですが現実には正直ともいえる報告書。1970年安心と言ってきたウンがばれてしまいました。



1000年年金に不安

安心年金どころか、多くの高齢者が不安でいっぱい。年金生活者の4割は月10万以下の生活を余儀なくされています。今も老後破産、生活困窮者が増え続けているのです。働く環境の悪化、今後の年金支給の減額や受給できる年齢の引き上げ、将来世帯の負担増など。この上消費税の増税をし、真面目に働いてきた老後は「自己責任」でいいのだろうか？

無責任な安倍首相、麻生財務大臣。テレビに映される「彼らの顔を見たくない」圧倒的な庶民の声が聞けます。だからこそ、この7月に行われる参議院選挙は、本当に大事な選挙。国民の怒りをこの選挙で表明し、少しでも政治を変えるチャンスです。「しんぶん赤旗」毎日版6月11日付「潮流」も参考にしました。

今どきの政治家とその政治

今どきの政治家を庶民がどう見ているのでしょうか？特に、都道府県議、国会議員などを一般市民が見る眼はその第一が「庶民感覚の欠如」といいます。そしてその人たちが行う「政治」。根室市民の皆さんはどうお考えでしょうか？

庶民感覚・世間常識欠如

この記事の参照にしているのは、2017年に首都圏在住3千人のアンケート結果です。筆者の私見も含めて少し書いてみます。政治家に欠けているもの

- 1位 庶民的感情・世間常識
- 2位 責任感
- 3位 金銭面の清潔さ
- 4位 実行力・行動力
- 5位 将来を見通す力
- 6位 信念、一貫した主義主張

7位 正義感 などとなつています。アベ政治のいい加減さ、ついこの間「日本維新の会」の丸山穂高衆院議員発言など。第2位の責任感とともに、何よりも庶民感覚や世間一般の常識に著しく欠ける政治家が目につきます。

なぜでしょうか？私も現職時代国会要請などで強く感じていた感覚とこの世論調査がほぼ一致します。特に、自民・公明など与

神忠志の勝手気ままな料理教室その10

妻の体調の関係でしばらくの間柔らかな料理ばかり作っていました。その一例です。料理教室と言えるものではありません。

やわらか温野菜サラダ

野菜何でも...

- ① 大根、カブ、じゃがいも、人参、ブロッコリー、カリフラワ、アスパラ 皮をむいて

の国会議員は、地域の要請に対して「政府機関（各省庁など）を呼びましようか」と政治家としての考えよりも、官邸や政府機関の主張をそのまま受け売りする様な政治家を数多く見てきました。どうも昔と違い政治家が「職業化」している様に思いました。

「令和」という新元号のこと。元号を決める背景、その由来が万葉集の「国書」と胸をはっています。元々万葉集が「国書」であるのか、よくよく考えたいもの。「民」のこと

より「国家」が先にくる今の政治、どうも気になります。



3ヶ月間の休刊をお詫びします

本ニュースを3月、4月、5月各号を休刊させていただきました。我が妻が少々大病を患い、その結果、私も長きにわたり根室を離れて、札幌などでの生活を余儀なくされました。4月末に戻りましたが、その後も色々時間を潰れず、しばらくの間休刊いたしことをお詫びいたします。